

2026年度

# 学生募集要項

(編入学・学士入学(第2年次)試験)

(編入学・学士入学(第3年次)試験)

工学部



学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合は以下の Web サイトで公表しますので、随時確認してください。

○大阪公立大学 入試情報サイト

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



2025年4月  
大阪公立大学

# 目 次

大阪公立大学の3つのポリシー	1
〔1〕 募集人員	8
〔2〕 出願資格・出願要件等	8
〔3〕 出願手続（インターネット出願）	
1 出願期間	9
2 出願方法	10
3 入学検定料等の支払方法	11
4 出願書類等	11
5 出願についての注意	12
6 受験票・受験上の注意の印刷	13
7 受験上・修学上の配慮について	13
〔4〕 入学者選抜方法等	
<u>編入学・学士入学（第2年次）試験</u>	
1 選抜方法等	14
2 利用教科・科目及び配点	14
3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場	15
<u>編入学・学士入学（第3年次）試験</u>	
1 選抜方法等	15
2 利用教科・科目及び配点	15
3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場	18
4 英語の成績評価について	18
〔5〕 合格者発表	
1 合格者発表について	19
2 合格通知書及び入学手続書類	19
〔6〕 入学手続	
1 入学手続について	20
2 入学許可の取消し	20
〔7〕 学費（入学料・授業料）	
1 入学料	20
2 授業料	21
3 その他	21
〔8〕 単位認定及び卒業要件	22
〔9〕 経済支援制度について	22
〔10〕 個人別成績の情報提供について	22
〔11〕 その他	
○ 個人情報取扱いについて	23
○ 過去問題について	23

試験会場交通アクセス  
問合せ先

# 大阪公立大学の3つのポリシー

## 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的・総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的・発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることを目指す。

### 学士課程で目指す学修成果

#### （知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

#### （技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

#### （態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

#### （統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1年を前期・後期の2学期制とし、15週の授業期間と試験期間を設ける。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の3要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

## 工学部

### 求める学生像

工学部は、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界雄飛」をモットーに、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和する科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを目指す。

このために、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識をもち、豊かな人間性と高い倫理観および専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上および文化の創造に貢献できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、工学部では、学問を深く継続して学ぶ意欲に富み、人や自然を愛し、人類の持続可能な発展と世界平和に関わる未知の問題に果敢に立ち向かい、地球環境を守るという気概をもつ、次のような学生を求める。

- 1 工学を学ぶことに対する目的意識を明確にもち、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 自由闊達で何事にも興味をもち、主体的、積極的に学び、自ら新たな課題を見つけ研究をしていこうとする人
- 3 工学的諸問題への強い関心と、問題解決への目標意識をもっている人

以上のような、工学部の教育理念・目的にふさわしい次の1～4の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

- 1 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 2 工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学、物理学、化学の素養を身に付けている人
- 3 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身に付けている人
- 4 論理的に考える素養を身に付けている人

### 航空宇宙工学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい航空宇宙システムを創出していくことが必要である。そのために航空宇宙工学科では、複雑化、多様化、複合化する現代社会の工学システムの中で、特に、高機能化、知能化、システム化が求められている航空宇宙システムを確立するために、基礎から最先端までの幅広い視野にたつて航空宇宙工学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、論理的な思考力を併せ持つ活力のある技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、航空宇宙工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 航空宇宙工学の基礎から応用に対する強い関心があり、持続可能な社会の発展に寄与しようとする意欲を持っている人
- 2 新しい航空宇宙システムを創出するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 航空宇宙工学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、航空宇宙工学の専門知識と技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

### 入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するため、工学部及び本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

#### 【一般編入学試験】

一般編入学試験では、次の1～3の能力や適正を身につけた学生を選抜する。

1. 最終出身学校又は在籍学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有していること
2. 航空宇宙工学科の3年次および4年次の専門科目を学ぶ上で必要な基礎知識を身につけていること
3. 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身につけていること

募集定員は1名とし、3年次に受け入れる。

＜筆記試験対象者＞

大学で学修するための高い基礎学力を有していること、論理的に考える素養を身につけていることを、面接によって評価する。また、材料力学、熱力学および流体力学の素養を有していることを、専門科目の筆記試験、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現する能力を有していることを、TOEFL 又は TOEIC 又は IELTS の成績によって評価する。

＜口述試験対象者＞

大学で学修するための高い基礎学力を有していること、論理的に考える素養を身につけていることを、面接によって評価する。また、材料力学、熱力学および流体力学の素養を有していることを、口頭試問、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現する能力を有していることを、TOEFL 又は TOEIC 又は IELTS の成績によって評価する。

## 海洋システム工学科

私たちの住む地球は、地圏、水圏、気圏とそこで生きる生物圏から構成されるひとつのシステムととらえることができる。いま、この地球システムは生物圏での人間活動によって大きな影響を受け、さまざまな障害が起こることが懸念されている。海洋システム工学科では、地球システムの中の水圏、特に海の環境という自然を理解し、その自然を壊すことなく海を利用し豊かな人間社会に貢献するために、海という自然システムと海を利用する人工システムを統合する学問の構築を目指す。海洋における人間活動に関わるすべての技術は、人間および環境との調和の上にあるべきとの基本理念のもとに、海洋における各種の人工システムに関する研究、開発、設計、生産、運用を担う人材、および海洋環境の計測、保全、創造に寄与できる人材を育成する。

この教育理念に基づいて、地球システムの中の海洋システムを理解するために、海洋環境およびその中で使用される人工システムに関する基礎学力をつけ、さらに専門知識を習得するとともに、総合的に物事を考える能力を育成すること、また、社会的倫理観を養い、国際社会においても活躍できるための自己表現力をつけ、幅広い分野で活躍できる創造性豊かな有能な人材を社会に送り出すことを目指す。

したがって、海洋システム工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、一般選抜では、次のような学生を求める。

- 1 海洋システム工学に対する強い関心があり、この分野で、人と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、学習意欲を継続できる人
- 3 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及び海洋システム工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

#### 【一般編入学試験】

募集定員は3名とし、3年次に受け入れる。海洋システム工学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

## 機械工学科

持続的発展が可能な社会を構築していくことが求められる中で、人・環境と共存・共生する機械技術、機械システムの確立が必要不可欠となっている。そのために機械工学科では、機械工学を中心とした幅広い知識、技能と、豊かな人間性、倫理観を持ち、大阪から地球規模までの機械工学における重要な課題を、材料からシステム、環境、エネルギーまで、原子・分子レベルのナノ・マイクロスケールから社会のマクロスケールまで多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、主体的に克服・解決法を発想し、実践する人材を育成することを目標とする。

したがって、機械工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 機械工学の幅広い技術・学術に強い関心があり、社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持つ人
- 2 機械工学に関する専門知識と技術、論理的な思考力、豊かな創造力の獲得を目指し、勉学意欲を持つ人
- 3 機械工学に関する専門知識と技術をもとに、国際的な視野で豊かな社会の構築に貢献する意欲を持つ人
- 4 高い倫理観を持ち、機械工学に関する専門知識と技術を利用して、社会の諸問題の解決に意欲的に取り組む人

### 入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために、工学部及び機械工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

#### 【一般編入学試験】

募集定員は4名とし、3年次に受け入れる。一般編入学試験では、機械工学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

編入学試験では、機械工学の学修・研究に必要な専門科目に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを、学力検査の専門科目によって評価する。大学で学修するための基礎学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していること、機械工学の学修・研究に必要な英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していること、機械工学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）を有していることを、口述試験・面接、出願書類によって評価する。

## 建築学科

成熟期を迎えた社会の諸課題を的確に把握し、持続可能な生活空間を実現するためには、工学から自然科学、人文社会科学に至るまで、幅広い領域の知識・技能を統合する必要がある。

建築学科は芸術・学術・技術に立脚した「建築総合教育」と、学生の個性を育てる「少人数教育」によって、社会の諸課題に対し専門的な知識・技能を統合し、持続可能な生活空間の実現にむけて主体的に行動できるような、柔軟な発想力と論理的な思考力を備えたデザイナーやエンジニアの育成を目指す。

したがって建築学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求めている。

- 1 建築という形のあるものを実現するための芸術・学術・技術に幅広く興味をもてる人
- 2 立体的な思考にもとづく空間やものづくりに主体的に取り組める人
- 3 自分の意見を他人に伝えるコミュニケーションに意欲のある人

### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及び建築学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

### 【一般編入学試験】

募集定員は1名とし、2年次に受け入れる。建築学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

### 都市学科

社会経済情勢、環境問題、災害対策、国際化などにより都市のあるべき姿は常に変化してきた。都市固有の歴史と文化を継承・発展させつつ、環境への負荷を低減し、人間活動と自然環境が調和した、豊かかつ災害などの外的インパクトにも強く柔軟に対応できる、安全・安心で機能的な都市、すなわち「持続可能都市」の実現が強く求められている。

都市学科では、この持続可能都市を探求し、またその構築および維持管理に係る技術について学び、それらの最先端課題について研究する。都市学科の教育研究対象は、人間社会の介在する公共空間であり、恵みと破壊をもたらす自然現象でもある。また、その課題は地域性とともな普遍性を有し、その現象は微生物スケールから地球規模のスケールにいたるまで大きな幅がある。そのため、都市学科では工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 都市の成り立ちや機能、現状の課題について日ごろから興味・関心があり、社会全体の幸福に貢献できる人
- 2 数学や理科などの自然科学分野の基礎学力を有し、それらの工学的応用について関心がある人
- 3 地理や歴史、公民などの社会の基礎学力を有し、文明の汎用性と文化の固有性の双方を尊重し、学ぶことができる人
- 4 継続的に外国語を学ぶことができる人。また、入学後に日本語または英語による講義が受講可能であり、外国語資料の読解および英語での交流・発表に意欲のある人
- 5 都市に関わる問題について、対立する意見を公正に評価し、複合的な問題について多面的にとらえ、科学的根拠に基づきながら自身の意見を述べるができる人

#### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及び都市学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

### 【一般編入学試験】

募集定員は1名とし、3年次に受け入れる。都市学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。出願書類（成績表）、個別学力検査（専門基礎）および口述試験の結果により評価する。

### 電子物理工学科

グローバル社会の持続可能な発展には、情報通信、エネルギー、交通等、多様な技術分野の進歩が不可欠である。これらに共通する基盤技術である、電子デバイスのさらなる高度化・高機能化、新規創成が様々な産業分野において求められている。そのような要求に応えるには、確固たる物理的基礎に立脚した電子技術に基づく、より独創的な発想が必要である。電子物理工学科は、このような社会的要請に応えるために、従来の電子工学の範疇を超える、電子材料、電子物性に力点を置いた教育を行うことで、幅広い物理的視野と電子技術の素養をもち、高い創造性を発揮できる人材を育成することを目標とする。

したがって、電子物理工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求める。

- 1 物理学や電気・電子工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、それを幅広い工学に応用することで社会の発展に貢献する意欲をもつ人
- 2 論理的な思考力と豊かな想像力の獲得を目指し、勉学意欲に溢れる人
- 3 物質がもつ電気、磁気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学修・研究する意欲に溢れる人
- 4 外国語能力に優れ、国際的視野をもって新たな課題を見出し、その解決に積極的に挑戦する意欲をもつ人
- 5 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

#### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及び電子物理工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

### 【一般編入学試験】

募集定員は3名とし、3年次に受け入れる。電子物理工学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

### 情報工学科

高度にグローバル化・ネットワーク化された情報化社会の発展に貢献するためには、情報と通信の劇的な変化に柔軟に対応していくことが必要である。そのために情報工学科では、情報の伝送・収集・蓄積から分析・活用に至るプロセスの理解を通して、基礎から最先端までの幅広い視野にたつて情報工学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、論理的な思考力を併せ持つ活力のある情報技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、情報工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 情報工学の基礎から応用について強い関心があり、グローバル化・ネットワーク化された情報化社会の発展に寄与しようとする意欲を持っている人
- 2 新しい情報通信技術を創出するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 情報工学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、情報技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

#### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及び情報工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

### 【一般編入学試験】

募集定員は2名とし、3年次に受け入れる。情報工学科に必要な素養を有していること、大学で学習するための高い基礎学力を有していることを、面接、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。さらに、情報工学の素養を有していることを、個別学力検査（数学、論理演算工学・データ構造とアルゴリズム）によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現するための基礎的な能力を有していることを、TOEFL 又は TOEIC 又は IELTS の成績によって評価する。

### 電気電子システム工学科

今日の社会はグローバル化し、高度にネットワーク化された情報化社会へと革新的に移行し続けている。電気電子システム工学科では、このような社会構造の劇的な変化に柔軟に対応し、豊かで快適な日常生活を支え、発展させていくため、電気工学、通信工学、システム工学を基礎とした最先端の電気電子システム工学に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、電気電子システム工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 電気電子システム工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、応用し、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 電気電子システム工学に対する論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人

#### 入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために、工学部及び電気電子システム工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

### 【一般編入学試験】

募集定員は4名とし、3年次に受け入れる。電気電子システム工学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

### 応用化学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい化学物質を創出していくことが必要である。そのために応用化学科では、物質の構造、性質、反応を原子・分子レベルから理解することを通して、基礎から最先端までの幅広い視野に立って化学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、グローバルな視野を併せ持ち、技術革新にも適応することができる化学技術者・研究者を育てることを目標としている。

したがって、応用化学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求めている。

- 1 化学の基礎と応用について強い関心があり、持続可能な社会の発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 新しい物質や化学技術を創造するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 化学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって地球環境に調和した豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、化学技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

#### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及び応用化学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

### 【一般編入学試験】

募集定員は7名とし、3年次に受け入れる。一般編入学試験では、学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

#### <筆記試験対象者>

応用化学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、面接、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。また、化学の素養を有していることを、個別学力検査の専門科目（分析化学、無機化学、物理化学、有機化学）によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現するための基礎的な能力を有していることを、TOEFL 又は TOEIC 又は IELTS の成績によって評価する。

#### <口述試験対象者>

応用化学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、口頭試問と面接、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現するための基礎的な能力を有していることを、TOEFL 又は TOEIC 又は IELTS の成績によって評価する。

### 化学工学科

人類社会の持続的発展のためには、地球環境に配慮し、限りある資源の有効かつ循環的な利用が不可欠である。そのために化学工学科では、原料から化学工業製品を生産するプロセスの開発、設計および操作に関する基礎理論とその応用、すなわち、化学だけでなく生物学や物理学等にわたる広領域化、理論の高度化、精密化に関する教育・研究を行うことにより、地球環境と調和した豊かな社会の構築に貢献できる優れた技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、化学工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 新しい物質の科学と技術に対する強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
- 3 外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することをめざす人
- 4 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人
- 5 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 6 化学工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学の素養、物理学の素養および化学の素養を身につけている人
- 7 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身につけている人

8 化学工学科のディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを理解し自身の将来と結びつけて考える事ができる人

#### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及び化学工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

##### 【一般編入学試験】

募集定員は8名とし、3年次に受け入れる。一般編入学試験では、学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

また、3年次編入学試験では、次の1～3の能力や適正を身につけた学生を選抜する。

1. 最終出身学校又は在籍学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有していること
2. 化学工学課程の3年次および4年次の専門科目を学ぶ上で必要な基礎知識を身につけていること
3. 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身につけていること

##### <筆記試験対象者>

大学で学修するための能力、意欲および志向を面接によって評価する。また、化学工学科の3年次、4年次の専門科目を学ぶために必要な能力を有していることを、専門科目の筆記試験、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現し、会話によりコミュニケーションするための基礎的な能力を有していることを、TOEFL又はTOEIC又はIELTSの成績によって評価する。

##### <口述試験対象者>

大学で学修するための高い基礎学力を有していること、論理的に考える素養を身につけていること、英文を読解し、書いて表現し、会話によりコミュニケーションするための基礎的な能力を有していること、また意欲および志向を、口頭試問および面接、TOEFL又はTOEIC又はIELTSの成績によって評価する。また、化学工学科の3年次、4年次の専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有していることを、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書および口頭試問によって評価する。

#### マテリアル工学科

現代の文明を象徴する様々な機器は、目的に応じたいくつもの「材料」によって構成されている。すなわち、時代の進歩には新しい材料の設計と開発が求められている。マテリアル工学科では、豊かな社会を築くため、最先端の材料に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、マテリアル工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 科学・技術の基盤であるマテリアル工学に強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
- 3 外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することを目指す人
- 4 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

#### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部及びマテリアル工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

##### 【一般編入学試験】

募集定員は4名とし、3年次に受け入れる。一般編入学試験では、学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

##### <筆記試験対象者>

マテリアル工学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、面接、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。また、物理および化学の素養を有していることを、個別学力検査の専門科目（量子論基礎、熱力学、無機化学）によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現するための基礎的な能力を有していることを、TOEFL又はTOEIC又はIELTSの成績によって評価する。

##### <口述試験対象者>

マテリアル工学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、口頭試問と面接、最終出身学校又は在籍学校の成績証明書によって評価する。さらに、英文を読解し、書いて表現するための基礎的な能力を有していることを、TOEFL又はTOEIC又はIELTSの成績によって評価する。

#### 化学バイオ工学科

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学ぶ。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することを目指す。そのため、本学科ではいずれの選抜方法においても、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人を求める。

- 1 化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
- 2 化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
- 3 実験や自然観察が好きな人
- 4 論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高める意欲を有する人
- 5 幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観をもって行動できる人

#### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部および化学バイオ工学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

【一般編入学試験】

募集定員は2名とし、3年次に受け入れる。化学バイオ工学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業  
者など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

※工学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>



## 〔1〕 募集人員

### 編入学・学士入学（第2年次）試験

学部	学科	募集人員
工学部	建築学科	1名

### 編入学・学士入学（第3年次）試験

学部	学科	募集人員
工学部	航空宇宙工学科	1名
	海洋システム工学科	3名
	機械工学科	4名
	都市学科	1名
	電子物理工学科	3名
	情報工学科	2名
	電気電子システム工学科	4名
	応用化学科	7名
	化学工学科	8名
	マテリアル工学科	4名
	化学バイオ工学科	2名

（募集人員に関する注意事項）

- ・各選抜において総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。

## 〔2〕 出願資格・出願要件等

### 編入学・学士入学（第2年次）試験

### 編入学・学士入学（第3年次）試験

出願できるのは、次の各号のいずれかに該当する者に限ります。

- (1) 学士の学位を有する者及び2026年3月31日までに有する見込みの者
- (2) 高等専門学校を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 我が国における修業年限4年以上の大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し、66単位以上を修得した者及び2026年3月31日までに修得見込みの者。ただし、本学工学部、大阪府立大学工学域及び大阪市立大学工学部在学中の者は除く。

※ 出願資格（3）により出願しようとする者は、事前確認を行います。

※ 2026年3月31日までに所定の単位を修得できない場合は、試験に合格しても入学許可を取り消すことがあります。

- (4) 我が国における短期大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- (5) 我が国における専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は総単位数が62単位以上であるものに限る。）を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- (6) 我が国における高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- (7) 外国において、前(1)～(6)に相当する学校教育における課程を修了した者
- ※ 出願資格(7)により出願しようとする者のうち、外国の短期大学及び我が国における外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者は、出願資格の確認を行います。
- (8) その他、本学において上記と同等以上の学力があると認められた者

※ 出願資格(3)(7)(8)により出願する場合は、事前確認を行いますので4月24日（木）までに入試課（電話番号：072-252-6305）へ申し出てください。

### 〔3〕出願手続（インターネット出願）

編入学・学士入学（第2年次）試験

編入学・学士入学（第3年次）試験

出願手続はインターネット出願により行います。

**※インターネットの出願登録と入学検定料等の支払いだけでは出願手続完了にはなりません。出願書類を郵送（郵送提出期間内必着）する必要があります。**

#### 1 出願期間

インターネット出願登録開始日時	出願書類の郵送提出期間
2025年5月2日（金）10:00 ※上記の日時以降、登録できます。	2025年5月7日（水） ～2025年5月9日（金） <b>【簡易書留郵便（速達可）にて必着】</b>

(注)・**出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。**

- ・ 出願書類は、インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、郵送提出期間内に郵送してください。
- ・ 郵送提出期間後に到着したものは受理できませんので十分注意してください。ただし、2025年5月7日（水）以前の発信局（日本国内）の消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。

## 2 出願方法

次の手順で出願を行ってください。



### 3 入学検定料等の支払方法

出願登録後に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 : 30,000 円
- ・支払手数料 : 990 円

支払方法は、下記の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	Pay-easy マークの付いている金融機関のATMで支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

### 4 出願書類等

インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、以下に記載の書類を郵送提出期間内必着（9ページ参照）で郵送してください。

(注)

- ・出願書類は、必ず「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に封入してください。「宛名ラベル」は、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから出力できます。
- ・（\*）マークが付いた本学所定の様式は、以下のURLからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶ <a href="https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/">https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/</a>	
---	---

書類種別	注意事項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷してください。
(2) 写真票（*）及び 縦4cm×横3cmの写真1枚	本学所定の様式に必要事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学科、氏名を記入してください。
(3) 出願資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業(見込)証明書、在学証明書、退学(在籍)証明書のうちいずれか1通。</li> <li>・出願資格に該当する出身学校長が作成したもの。コピーは不可。</li> </ul>
(4) 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願資格に該当する出身学校長が作成し厳封したもの。コピーは不可。</li> </ul>
(5) 単位修得見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在学証明書を提出する者のみ。</li> <li>・科目名と単位数が記載されていること。</li> <li>・出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の科目名と単位数が記載されているもの。コピー可。</li> </ul>
(6) 履歴書（*）	本学所定の様式により、志願者本人が作成してください（パソコン等での作成も可）。

(7) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。
(8) スコア証明書返却用封筒  (※右の注意事項欄に記載のものは除く。)	市販の長形3号（縦23.5cm×横12cm）の封筒に郵便番号、住所、氏名を記入の上、460円分の切手を貼り付けてください。 ただし、次のものは「スコア証明書返却用封筒」の提出は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築学科へ出願するもの</li> <li>・TOEIC Listening &amp; Reading 公開テストのデジタル公式認定証を提出するもの</li> <li>・スコア未提出申出書を提出するもの</li> </ul>
(9) TOEFL 又は TOEIC L&R 又は IELTS のスコア証明書  (※建築学科へ出願するものは除く。)	<p>&lt;有効なスコア証明書&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ TOEFL(iBT)の Test Taker Score Report</li> <li>▶ TOEIC Listening &amp; Reading 公開テストの<u>デジタル公式認定証</u></li> <li>▶ IELTS(アカデミック・モジュール)の Test Report Form(成績証明書)</li> </ul> <p>・有効なスコア証明書は2023年5月から2025年4月に受験したものとします。</p> <p>・コピーやWebサイト上からダウンロードされたスコア証明書は不可。原本は出願確認後に郵送にて返却します。ただし、TOEIC Listening &amp; Reading 公開テストのデジタル公式認定証の場合は、QRコードから真正性の確認ができるデジタル公式認定証を白のA4用紙に印刷して提出してください（印刷されたデジタル認定証は返却しません）。</p> <p>※日本国外でTOEIC Listening &amp; Reading 公開テストを受験したものに限り、TOEIC Listening &amp; Reading 公開テストの TOEIC Listening &amp; Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE（公式認定証）原本の提出も認めます。</p> <p>・出願時にスコア証明書の提出ができない場合は、スコア未提出申出書（本学所定の様式（*））を提出してください。この場合、スコア証明書返却用封筒は不要です。</p> <p>・18ページの「4 英語の成績評価について」を必ず確認してください。</p>

## 5 出願についての注意

- (1) 住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、最終ページの「問合せ先」に申し出るか、郵便局に転居届を提出してください。
- (2) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取消しは、一切認めません。
- (3) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
- (4) 提出された出願書類は、一切返却しません。ただし、TOEFL 又は TOEIC L&R 又は IELTS のスコア証明書の原本は返却します（印刷された TOEIC L&R デジタル認定証は除く）。

- (5) 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて郵送提出期間内に必着）の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しません。
- (6) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。なお、電話やメールの確認不足により不利益を被ったとしても本学は責任を負いません。
- (7) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。

**【返還可能な事由】**

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込んだ場合

返還方法等は、郵送提出期間最終日より1か月以内に入試課にお問い合わせください。

**6 受験票・受験上の注意の印刷**

出願手続を完了した者には、インターネット出願サイト内にて受験票を発行します。

2025年5月15日（木）以降にポータルサイトへログインし、インターネット出願サイトより**A4サイズ**の用紙に各自で**受験票を印刷し**、内容を確認してください。また、**受験票は試験当日に必ず持参してください。（受験票は郵送しません。）**

2025年5月16日（金）になっても受験票が印刷できない場合及び受験票の記載事項に誤りがある場合は、必ず最終ページの「問合せ先」の入試課に申し出てください。

受験上の注意は、本学Webサイトに掲載する予定です。受験にあたっては、受験上の注意を必ず印刷して内容を確認し、受験票とともに試験当日に持参してください。

**7 受験上・修学上の配慮について**

- (1) 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、事前相談の手続を行ってください。

**ア 相談の方法**

以下「ウ 申請先及び問合せ先」に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

**イ 事前相談及び申請期間**

インターネット出願登録期間の1か月前まで

(注) 上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

**ウ 申請先及び問合せ先**

大阪公立大学 入試課（中百舌鳥キャンパス）

TEL：072-252-6305 E-mail：gr-nyu-ask2@omu.ac.jp

- (2) 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談はアクセシビリティセンターで受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望する者は、次ページの**【修学上の配慮に関する問合せ先】**にお問い合わせください。

【修学上の配慮に関する問合せ先】

<アクセシビリティセンター>

E-mail : gr-gks-ac@omu.ac.jp

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/support/disabled/>

工学部（建築学科、都市学科、化学バイオ工学科除く）

<中百舌鳥キャンパス> TEL : 072-254-9867

工学部（建築学科、都市学科、化学バイオ工学科）

<杉本キャンパス> TEL : 06-6605-3650



## 〔4〕 入学者選抜方法等

### 編入学・学士入学（第2年次）試験

#### 1 選抜方法等

編入学・学士入学（第2年次）試験の選抜は、「筆記試験、面接、出願書類」を総合して判定します。

※大阪公立大学工業高等専門学校在籍者は「口述試験（筆記免除）」による選抜方法を許可される場合があります。

#### 【口述試験対象者の発表】

発表日時 2025年5月16日（金）13時00分

発表場所 口述試験対象者受験番号の一覧を本学Webサイトに掲載します。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam\\_info/pass/](https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/)

※電話等による口述試験対象者発表の問合せには、一切応じません。



#### 2 利用教科・科目及び配点

##### ア 筆記試験・面接対象者

学科	教科	個別学力検査 科目名等	配点
建築学科	その他	小論文	50
	その他	面接	50
配点合計			100

※ 小論文は、建築学科専門分野に関連する基礎的課題の論述を課します。論述に加えて、簡単なスケッチ、イラストや工作を課すこともあります。

##### イ 口述試験（筆記免除）対象者

学科	教科	個別学力検査 科目名等	配点
建築学科	その他	口述試験・面接	50
	その他	出願書類	50
配点合計			100

3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場

ア 筆記試験対象者 2025年6月1日(日)

試験会場：中百舌鳥キャンパス

学 科	試験科目・時間割	
建築学科	小論文	面接
	9:30~12:00	13:10~

イ 口述試験対象者 2025年6月1日(日) 13時10分~

試験会場：中百舌鳥キャンパス

※予備日(筆記・口述試験対象者)

2025年6月15日(日)	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とする。
---------------	---

編入学・学士入学(第3年次)試験

1 選抜方法等

編入学・学士入学(第3年次)試験の選抜は、「筆記試験、面接、出願書類」を総合して判定します。

※大阪公立大学工業高等専門学校在籍者は「口述試験(筆記免除)」による選抜方法を許可される場合があります。

【口述試験対象者の発表】

発表日時 2025年5月16日(金) 13時00分

発表場所 口述試験対象者受験番号の一覧を本学Webサイトに掲載します。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam\\_info/pass/](https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/)

電話等による口述試験対象者発表の問合せには、一切応じません。



2 利用教科・科目及び配点

ア 筆記試験・面接対象者

学科	教科	個別学力検査 科目名等	配点
航空宇宙 工学科	専門科目	材料力学、熱力学、流体力学	300
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		400
海洋システム 工学科	専門科目	材料力学、一般力学(質点・剛体の運動、振動)、流体力学	300
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接	100
	その他	出願書類	◎
	配点合計		500

◎入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」で判定します。

学科	教科	個別学力検査 科目名等	配点
機械工学科	専門科目①	材料力学、機械力学	400
	専門科目②	熱力学、流体力学	
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		
都市学科	専門科目	都市学基礎（都市の計画・環境・防災に関する論 述式問題）	200
	その他	面接	200
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	◎
	その他	出願書類	◎
	配点合計		
電子物理工学科	専門科目	電磁気学、電気回路	200
	基礎科目	数学〔線形代数、微分方程式、複素関数論（フー リエ級数、フーリエ及びラプラス変換を含む）〕	100
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		
情報工学科	専門科目	論理演算工学、データ構造とアルゴリズム	200
	基礎科目	数学〔線形代数、微分方程式、複素関数論（フー リエ級数、フーリエ及びラプラス変換を含む）〕	100
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		
電気電子 システム 工学科	専門科目	電磁気学、電気回路	200
	基礎科目	数学〔線形代数、微分方程式、複素関数論（フー リエ級数、フーリエ及びラプラス変換を含む）〕	100
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		
応用化学科	専門科目	分析化学、無機化学、物理化学、有機化学	400
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		

◎入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

学科	教科	個別学力検査 科目名等	配点
化学工学科	専門科目	化学工学、物理化学	400
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	200
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		600
マテリアル工学科	専門科目	量子論基礎、熱力学、無機化学	400
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		500
化学バイオ工学科	専門科目	有機化学、無機・物理化学、生物化学	400
	その他	TOEFL、TOEIC L&R 又は IELTS	100
	その他	面接・出願書類	◎
	配点合計		500

◎入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

#### イ 口述試験（筆記免除）対象者

学科	教科	個別学力検査 科目名等	配点
航空宇宙工学科 機械工学科 電子物理工学科 情報工学科 電気電子システム工学科 応用化学科 化学工学科 化学バイオ工学科	その他	口述試験・面接、出願書類	◎
		配点合計	◎
海洋システム工学科	その他	口述試験・面接	100
	その他	出願書類	◎
	配点合計		100
都市学科	その他	口述試験・面接	400
	その他	出願書類	◎
	配点合計		400
マテリアル工学科	その他	口述試験・面接	100
	その他	出願書類	◎
	配点合計		100

◎入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

※「TOEFL 又は TOEIC L&R 又は IELTS のスコア証明書」は「出願書類」に含みます。

3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場

ア 筆記試験・面接対象者 2025年6月1日（日）

試験会場：中百舌鳥キャンパス

学 科	筆記試験		口述試験・面接
	専門科目	基礎科目	
航空宇宙工学科	9:30～12:00		13:10～
海洋システム工学科	9:30～12:00		13:10～
機械工学科	①9:30～11:30 ②12:30～14:30		15:30～
都市学科	9:30～12:00		13:10～
電子物理工学科	9:30～12:00	13:10～14:10	14:30～
情報工学科	9:30～12:00	13:10～14:10	14:30～
電気電子システム工学科	9:30～12:00	13:10～14:10	14:30～
応用化学科	9:30～12:00		13:10～
化学工学科	9:30～12:00		13:10～
マテリアル工学科	9:30～12:00		13:10～
化学バイオ工学科	9:30～12:00		13:10～

イ 口述試験（筆記免除）対象者 2025年6月1日（日） 14時30分～

試験会場：中百舌鳥キャンパス

※予備日（筆記・口述試験対象者）

2025年6月15日（日）	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とする。
---------------	---

4 英語の成績評価について

編入学・学士入学（第3年次）試験では、英語の成績評価を以下の方法で行います。

ア スコア証明書について

出願時に TOEFL 又は IELTS のスコア証明書（成績証明書）の原本を提出してください。ただし、TOEIC Listening & Reading 公開テストのデジタル公式認定証の場合は、QR コードから真正性の確認ができるデジタル公式認定証を白の A4 用紙に印刷して提出してください（印刷されたデジタル認定証は返却しません）。

※日本国外で TOEIC Listening & Reading 公開テストを受験したものに限り、TOEIC Listening & Reading 公開テストの TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE（公式認定証）原本の提出も認めます。

有効なスコア証明書は 2023 年 5 月から 2025 年 4 月に受験したものとします。

なお、出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日に、より良い成績の最新スコア証明書がある場合は再提出を認めます。

テスト種別	証明書名	認められないテスト種別
TOEFL (iBT)	Test Taker Score Report 〈注 1〉	TOEFL-ITP（団体特別試験制度）

テスト種別	証明書名	認められないテスト種別
TOEIC Listening & Reading 公開テスト	TOEIC Listening & Reading 公開テストのデジタル公式認定証 ※日本国外で TOEIC Listening & Reading 公開テストを受験したものに限り、TOEIC Listening & Reading 公開テストの TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE（公式認定証）原本の提出も認めます。	TOEIC-IP（団体特別試験制度） TOEIC Speaking & Writing Tests TOEIC Speaking Test TOEIC Writing Test TOEIC Bridge Test
IELTS（アカデミック・モジュール）	Test Report Form（成績証明書）	IELTS（ジェネラル・トレーニング・モジュール）

〈注 1〉「Test Taker Score Report」については、Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します。  
 （MyBest™スコアは活用しません）「Special Home Edition」での受験によるスコアは認めません。

#### イ 出願時にスコア証明書の提出ができない場合について

スコア未提出申出書（所定の様式）を出願書類と共に提出し、スコア証明書は下記《試験当日のスコア証明書提出方法について》のとおり提出してください。

#### ウ 試験当日のスコア証明書提出方法について

筆記試験・1時間目の試験開始前に、監督者から説明がありますのでその際に提出してください。

#### エ スコア証明書未提出者の取扱い

スコア証明書を提出できない場合でも本試験を受験する事ができますが、英語の成績評価は 0 点となります。

## 〔5〕合格者発表

### 1 合格者発表について

合格者の受験番号を、下記のとおり本学 Web サイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶▶ <a href="https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/">https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/</a>	
---	---

選抜種別	発表日時	Web サイト掲載期間
編入学・学士入学（第 2 年次）試験	2025 年 6 月 20 日（金）	2025 年 6 月 20 日（金）10:00～
編入学・学士入学（第 3 年次）試験	10:00	2025 年 6 月 26 日（木）17:00

（注）電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

### 2 合格通知書及び入学手続書類

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続案内を速達・簡易書留郵便で送付します（合格者発表当日の午前中に発送）。なお、不合格者への通知は行いません。

- (2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続案内が入学手続期間前日までに到着しなかった場合は、入試課まで連絡してください。
- (3) 郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続期間以降の入学手続は一切認めません。

## 〔6〕入学手続

### 1 入学手続について

入学手続案内の説明に従って、下表の期間にポータルサイトより手続してください。入学手続は、システムからの手続が必要になります。

選抜種別	入学手続サイト登録期間
編入学・学士入学（第2年次）試験	2025年8月15日（金）10:00～
編入学・学士入学（第3年次）試験	2025年8月19日（火）15:00

(注)・システム登録時に入学料の納付が必要になります。支払い方法に応じて支払手数料がかかります。詳細は20ページの入学料を確認してください。

- ・入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

入学手続 ▶▶▶

[https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam\\_info/general/procedure/](https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/general/procedure/)



### 2 入学許可の取消し

- (1) 出願時に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 入学手続完了後でも、高等学校等の課程を卒業（修了）できない場合は、入学許可を取り消します。

## 〔7〕学費（入学料・授業料）

学費（入学料・授業料）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。入学手続案内に詳細を記載しますので、必ず確認してください。各問合せ先については、最終ページを参照してください。

(注) 既納の納付金は還付しません。

### 1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000円 「その他の者」 382,000円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2026年4月入学者の場合、2025年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類

※入学手続サイト登録期間の1か月以内に交付を受けてください。

詳細は入学手続案内に記載します。

- ・入学料は、入学手続期間内に納付してください。

- ・入学料の他に、支払手数料が必要となります。

支払方法は、下記の3種類が利用可能です。詳しい支払方法については、入学手続きの際に、入学手続きサイト内で選択した支払い方法の画面で確認してください。

支払方法・支払手数料	取扱機関等
(1) クレジットカード ・大阪府民及びその子 6,500 円 ・その他の者 8,500 円	VISA、MasterCard、JCB、 AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) ATM (ペイジー) 1,250 円	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。コンビニ窓口・コンビニ共用の ATM では使えません。
(3) ネットバンキング (ペイジー) 1,250 円	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

(注) 支払方法(2)(3)について、ペイジーによる払込にかかる手数料や利用可能時間、現金での払込上限金額等については、金融機関ごとに異なる場合がございますので、事前に各金融機関の Web サイト等でご確認ください。

- ・入学手続き完了後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。
- ・「高等教育の修学支援新制度」「大阪公立大学等授業料等支援制度」に申請予定の場合でも、必ず入学料を納付してください。

入学後、本制度による支援の対象者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います。

※外国人留学生は、本制度の対象外です。

※過去に入学料減免の支援を受けていれば、2度目の支援は受けられません。

## 2 授業料 [年額] 535,800 円 (入学後に納付)

- ・授業料は年額の 1/2 を半期毎 (前期・後期) に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。
- ・授業料減免申請者は、当該年度の授業料金額及び引落日が異なることがあります。

## 3 その他

- (1) 各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費 (交通費等) が必要になる場合があります。
- (3) 個人ノートパソコンの準備 (必携)

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業等においてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めていきます。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペック (2026 年度) は、本学の Web サイトで公開します (2026 年 2 月頃予定)。  
※2025 年度入学者向けの必要スペックについては、2025 年 2 月上旬に掲載予定です。経済的な事情等によりノートパソコンの準備が困難な方については、1年間の貸与制度を準備しています。

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc>



(4) 一部の学部・学科等では、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、学部のオリエンテーション等でお知らせします。

## 〔8〕単位認定及び卒業要件

入学時に出身（在学）学校等で修得した科目の内容等に応じて本学としての単位認定を行います。科目内容等によっては認定を行わない場合もあります。

出身（在学）学校等と志望する課程の専門分野が大きく異なる場合、単位認定ができない場合があります。

卒業の要件は、編入学・学士入学（第2年次）試験の入学者は3年以上、編入学・学士入学（第3年次）試験の入学者は2年以上在学し、入学時に認定された単位と合わせて本学所定の単位を修得する必要があります。

## 〔9〕経済支援制度について

本学には、授業料減免制度や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度に関する詳細や申請方法については、本学 Web サイトに掲載しております。

<大阪公立大学 経済支援制度>

[https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial\\_aid/](https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/)



※外国人留学生が利用できる経済支援制度については以下をご覧ください。

授業料減免 <https://www.omu.ac.jp/campus-life/information/exemption/>

奨学金 <https://www.omu.ac.jp/campus-life/information/scholarship/>



【授業料減免】



【奨学金】

## 〔10〕個人別成績の情報提供について

2026年度編入学・学士入学（第2年次）試験、編入学・学士入学（第3年次）試験の個人別成績について、以下のとおり提供します。

### 1 提供内容

個別学力検査の科目別得点（配点公表分のみ）

### 2 提供期間

2026年5月8日（金）10:00 から 2026年6月5日（金）15:00 まで

### 3 提供対象者

受験者本人に限ります。

### 4 提供方法

下記 URL よりポータルサイトにログインし、確認してください。

成績開示 ▶▶▶

[https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam\\_info/score/](https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/score/)



## 〔11〕 その他

### ○ 個人情報の取扱いについて

大阪公立大学では、個人情報の保護に関する法律及び公立大学法人大阪における個人情報の取扱い及び管理に関する規程に基づき、情報の収集は最小限に努めるとともに、その情報については法令等に沿い、適切に利用、管理いたします。

#### 1 個人情報の定義

本学が入学者選抜に用いた、氏名、住所、電話番号、受験番号、メールアドレス、生年月日、成績、配慮を行う上での健康情報、その他の当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む）を指します。

#### 2 個人情報の利用

(1) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続のほか、追跡調査等入試の改善に関する調査・研究、志望動向の調査・分析、入学後の学生生活支援関係業務（奨学金・授業料関係、学生生活相談、健康管理）、並びに教育改善等のFD<sup>※1</sup>活動、大学運営改善等に向けたIR<sup>※2</sup>に利用します。（入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）

(2) 本学における学術研究目的で利用します。ただし、個人が特定される形でその成果を公表することはありません。

(3) データの電子化、電算処理、分析・統計、印刷、製本等を外部に委託する場合があります。本学から業務委託を受けた業者に個人情報の全部又は一部を提供する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

※1 FD：Faculty Development の略、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組  
例) 授業方法についての研究会や新任教員のための研修会等

※2 IR：Institutional Research の略、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行う活動

### ○ 過去問題について

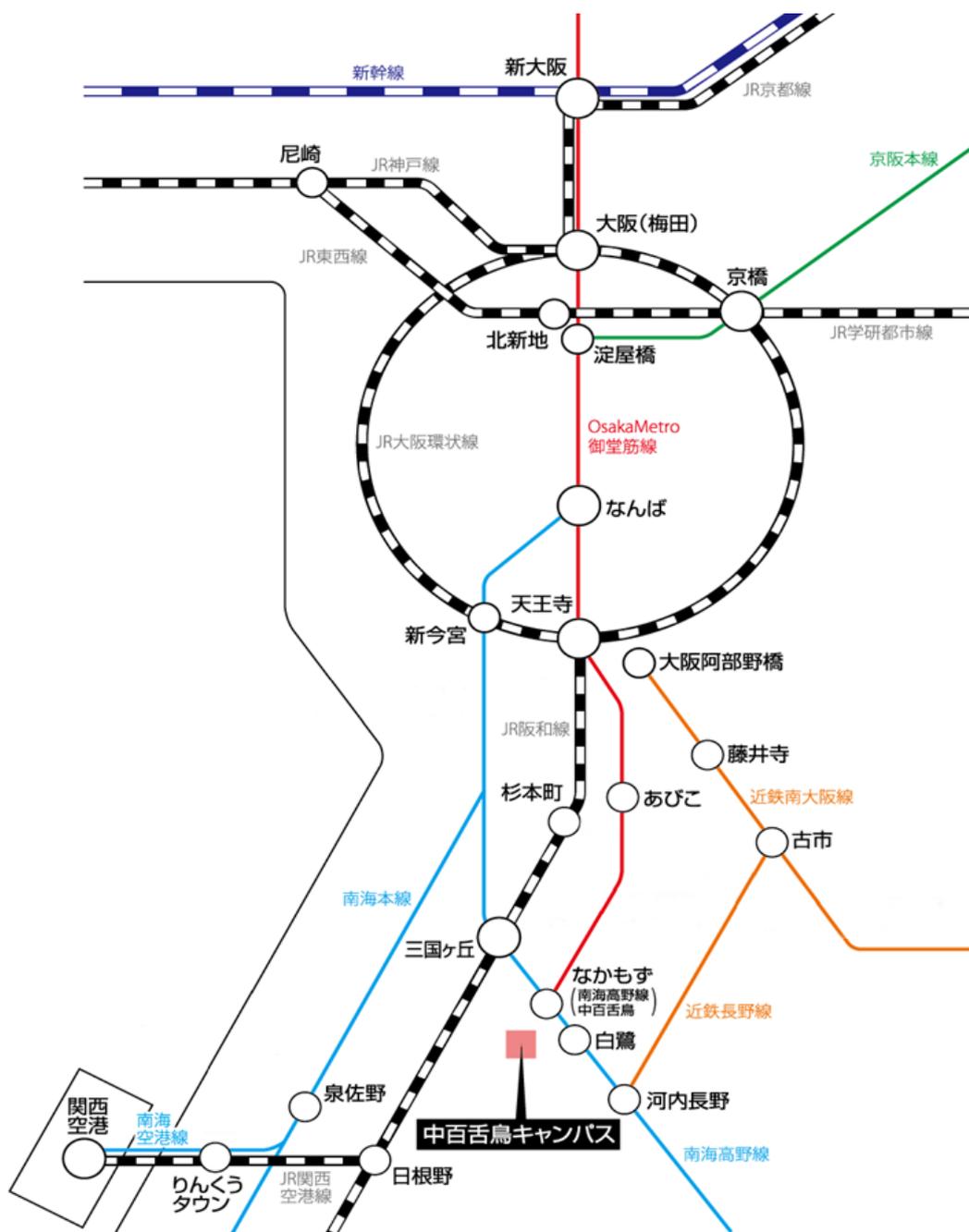
過去の入試問題の詳細については、以下の本学 Web サイトに掲載しています。

特別選抜 過去問題 ▶▶▶

[https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam\\_info/past-eq/](https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/past-eq/)



# 試験会場交通アクセス



## ■ 中百舌鳥キャンパス



- ・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約7分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約13分
- ・Osaka Metro 御堂筋線「なかもす駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約13分

## 問合せ先

お問い合わせの前に、入試に関する Q&A も確認してください。

大阪公立大学 入試に関する Q&A ▶▶▶

[https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam\\_info/qa/](https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/qa/)



事項	問合せ先	電話番号／E-mail
入試に関すること 入学手続に関すること	入試課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-9202 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
単位認定に関すること	教育推進課 工学部担当 （中百舌鳥キャンパス）	072-254-7511
入学料・授業料に関すること	学生課学生奨学支援室 （杉本キャンパス）	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
経済支援制度に関すること		06-6605-2102 gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp

受付日時：月～金曜日（祝日及び休業日を除く。）9:00～17:00

### 【郵送先】

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1番1号

大阪公立大学 入試課（中百舌鳥キャンパス）

## Web サイト

最新の情報は、Web サイトからご確認ください。

大阪公立大学 入試情報サイト

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>

